街歩きヒストリア

河野宏志さん撮影

⑦ 八剣神社（やつるぎ）

江戸時代以前から、広島城下町は洪水に見舞われやすい地域でした。人柱を入れて洪水を鎮めようとする話を聞いた第二代城主福島正則は、不憫（ふびん）に思い秘蔵の名剣八本を埋め、人柱の代わりとしました。

その名剣の霊を祀（まつ）って建てられたのが八剣神社です。まだ太田川放水路も大芝水門も無かった当時はこのような形で洪水対策をするしかなかったのですね。

八剣神社は、京橋川にかかる牛田大橋南詰め東側の道沿いにあります。

（文・小川敏明さん）

福島正則画像（大阪城天守閣蔵）

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。